

太陽風磁場南北成分 -10nT前後の強い南向き
地上磁場 Dst最小値-38nT (10/24 6UT)、AE-1000nT程度のオーロラ活動

・2020年10月 CMEに伴う擾乱

2020/10/26 22UT頃 フィラメント消失 (N30E10)、2020/10/27 3UT頃 CME

2020/11/01- 磁場擾乱

太陽風速度 380km/s前後

太陽風磁場強度 5nT -> 7nT前後

太陽風磁場南北成分 -6nT程度の南向き

地上磁場 Dst最小値-28nT (11/01 20UT)、AE-1000nT程度のオーロラ活動

・2020年11月 Mクラスフレア

2020/11/29 12UT M4.4 LDEフレア (太陽面東端)、CME

CME噴出方向が東向きであったため、地球への大きな影響なし

・2020年12月 CMEに伴う擾乱

2020/12/07 16UT C7.4フレア (2790黒点群)、Full-Halo型CME

2020/12/10- 磁場擾乱

太陽風速度 1.5UT頃に衝撃波到来 480km/s -> 580km/s前後

太陽風磁場強度 7nT -> 15nT前後の間で推移

太陽風磁場南北成分 -10nT前後の強い南向き

地上磁場 2020/12/10 2UTにSIを観測

・2021年1月 CMEに伴う擾乱

2021/1/6 4UT頃 CME (北西)あるいは2021/1/8 6UT頃 フィラメント消失、CME (南西)

2021/1/11- 磁場擾乱

太陽風速度 300km/s -> 480km/s前後

太陽風磁場強度 2nT -> 20nT前後

太陽風磁場南北成分 -17nT程度の南向き

地上磁場 Dst最小値-33nT (1/12 0UT)、AE-800nT程度のオーロラ活動

・2021年1月 コロナホールに伴う擾乱

南半球低緯度のコロナホール

2021/1/25- 磁場擾乱

太陽風速度 360km/s -> 600km/s前後

太陽風磁場強度 5nT -> 10nT前後の間で推移

太陽風磁場南北成分 -9nT前後の強い南向き

地上磁場 Dst最小値-43nT (1/26 10UT)、AE-1500nT程度のオーロラ活動

(2) 現象報告

上記報告期間に限らず、興味を引く様々な現象の観測データ、シミュレーションデータ、独自の解析結果などの発表を受け付けます。また、前24太陽周期のまとめや、今25周期の予測についての講演も歓迎します。

(3) 話題提供、議論

最近得られた新たな知見や発見、古いイベントの再解析、複数イベントの比較解析などを受け付け、学生からシニアな研究者までが気軽に議論できる場を提供します。

問合せ先：

・九州大学 国際宇宙天気科学・教育センター 阿部修司 abeshu at icswse.kyushu-u.ac.jp

- ・名古屋大学 宇宙地球環境研究所 西谷 望 nisitani at isee.nagoya-u.ac.jp
- ・京都大学生存圏研究所 海老原祐輔 ebihara at rish.kyoto-u.ac.jp
- ・情報通信研究機構 宇宙環境研究室 久保勇樹 kubo at nict.go.jp
- ・国立極地研究所 片岡龍峰 kataoka.ryuho at nipr.ac.jp

--

=====

Shuji Abe
Research Associate
International Center for Space Weather Science and Education
Kyushu University
[E-mail:abeshu@icswse.kyushu-u.ac.jp](mailto:abeshu@icswse.kyushu-u.ac.jp)

Ito Campus:
744, Motooka, Nishi-ku, Fukuoka, 819-0395, Japan
TEL: +81-92-802-6240 / +81-92-642-2111 (ext. 90-8242)
FAX: +81-92-802-6240

=====